

ニューロモルフィックAIハードウェア研究センター拠点

- 研究センター拠点「Fancy」整備
 - ニューロモルフィックAIハードウェア研究センターと環境デザイン研究室・建築デザイン研究室（建設社会工学科）が協働で推進。
 - 「人とロボットの共存するデザイン」と「バイオフィリックデザイン」に取り組む。
- ニューロモルフィックAIハードウェア研究センター
 - 人間の脳をまねして効率の良い演算装置の実現を目指す。数理モデル，材料，回路，ロボットの4分野が融合し，人間の脳のように動くAIマテリアルをロボットへ応用する研究に取り組んでいる。

Fancyでの取り組み

- 「人とロボットの共存するデザイン」
 - 人とロボットが共存できるように空間をデザイン。分野の壁を越えた研究活動の場としての役割。
 - 「ギャラリー・アーカイブスペース」「ミーティングスペース」「ワークスペース」「リフレッシュスペース」といった性質の異なる空間を区切らずに緩やかにつなげる。
- 「バイオフィリックデザイン」
 - 空間に自然の要素を取り入れ、人の健康と幸福を向上させるデザイン手法
 - ロボットが植物の生育を学んで、その位置を動かすことで、人とロボットだけでなく、そこに植物も共存する未来を目指す。